FCL Components SERVIS KVM Solution フルHD1Uドロワー FD-6000DVI/J FD-6000DVI/JW

オペレーティングマニュアル

04版

この装置は、クラス A 情報技術装置です。 この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。 この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI-A

ハイセイフティ用途での使用について

本製品は、一般事務用、パーソナル用、家庭用、通常の産業用等の一般的用途を想定して設計・製造され ているものであり、(1)原子力施設における核反応制御、航空機自動飛行制御、航空交通管制、大量輸送シ ステムにおける運行制御、生命維持のための医療用機器、兵器システムにおけるミサイル発射制御などの、 極めて高度な安全性が要求され、仮に当該安全性が確保されない場合、直接生命・身体に対する重大な危険 性を伴う用途ならびに(2)海底中継器、宇宙衛星など、極めて高度な信頼性が要求される用途(以下「ハイセ イフティ用途」という)に使用されるよう設計・製造されたものではございません。お客様は、当該ハイセイ フティ用途に要する安全性ならびに信頼性を確保する措置を施すことなく、本製品を使用しないでくださ い。また、お客様がハイセイフティ用途に本製品を使用したことにより発生する、お客様または第三者か らの如何なる請求または損害賠償に対しても、FCL コンポーネント株式会社およびその関連会社は一切責 任を負いかねます。

> その他の製品名等の固有名詞は、各社の登録商標または商標です。 Copyright 2024 FCL COMPONENTS LIMITED

安全に関するご注意

ご使用になる前に、この「安全に関するご注意」のページをよくお読みの上、正しくご使用下さい。 ここには、お使いになる人や他の人への身体および財産への損害を未然に防止するための注意事項を 記載しています。

警告レベルを表すシンボルマーク

\triangle	危険	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡する可能性または重傷を 負うことがあり、その切迫の度合いが高いことを示しています。
\triangle	藝告	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡する可能性または重傷を 負う可能性があることを示しています。
\triangle	注意	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性があること、 物的損害が発生する可能性があることを示しています。

危険や危害の内容を表すシンボルマーク

記号	危害・損害レベル	内容説明
\bigcirc	禁止	してはいけない行為(禁止行為)であることを告げるものです。 記号の中やその脇には、具体的な警告内容が示されています。
	厳守	必ず従っていただく内容であることを告げるものです。記号の中や その脇には、具体的な警告内容が示されています。
\triangle	注意・警告	警告・注意をうながす内容であることを告げるものです。記号の中や その脇には、具体的な警告内容が示されています。

使用中の取り扱いについて

⚠警告			
жыл S	本製品に水をかけたり、濡らしたりしないでください。感電・火災の原因となります。		
水場での使用	風呂場、シャワー室などの水場で使用しないでください。感電・火災の原因となります。		
悪環境での使用	本製品の上や近くに、花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器または、小 さな金属物を置かないでください。装置内に入った場合、火災・感電・故障の原因となります。		
電源プラグ抜去	万一、本製品から発熱や煙、異臭や異音がするなどの異常が発生した場合は、ただちに本製品の 電源スイッチを切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。感電・火災の原 因となります。		
電源プラグ抜去	万一、装置内部に水などの異物が入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、電源プラ グをコンセントから抜いて販売窓口までご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電・故障 の原因となります。		
電源プラグ抜去	万一、この機器を落としたり、キャビネットを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、 電源プラグをコンセントから抜いて販売窓口までご連絡ください。そのまま使用すると火災・感 電・故障の原因となります。		
航空機内での使用	航空機内では本製品を使用しないでください。航空機の計器誤動作の原因となります。		

使用中の取り扱いについて

⚠注意				
▶ 火災 本製品の開口部(通風孔など)をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり 火災の原因となることがあります。				
 衝撃、振動 本製品に過度の衝撃や振動を与えないでください。感電・火災または、故障の原因になることた あります。 				
国内仕様	国内仕様 本製品は日本国内仕様です。本製品を日本国外で使用された場合、弊社は一切の責任を負いかねます。また、弊社は本製品に関し日本国外への技術サポート、およびアフターサービス等を行っておりませんので、あらかじめご了承願います。			
設置・挑	居付について			
	⚠警告			
感電	アクセサリの取り付けおよび取り外しを行う場合は、必ず装置本体の電源を切り、電源コードを コンセントから抜いた状態で行ってください。感電の原因となります。			
感電、火災	 感電、火災 本製品を移動させる場合は、電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続線をはずしたことを確認のうえ、行ってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。 			
	⚠注意			
悪環境への設置	水、湿気、湯気、ほこり、油煙等の多い場所(調理台や加湿器のそばなど)に設置しないでくだ さい。感電・火災・故障などの原因になることがあります。			
不安定な場所	ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりし て、けがの原因となることがあります。			
振動、衝撃	振動・衝撃の多い場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となること があります。			
専用箱での運搬	本製品を運搬する際は、衝撃や振動を避けるため、購入時の箱か同等の箱を使用してください。 ただし、変形および破損等がある箱は、使用しないでください。本製品が故障する原因となるこ とがあります。			
結露	本製品を寒冷な環境から設置場所に移動すると、結露を生じることがあります。装置が完全に乾燥し、設置場所とほぼ同じ温度になってから使用してください。すぐに使用すると、本製品が故障する原因となることがあります。			
ケーブル接続	本製品にケーブルを接続する場合は、接続部にストレスがかからないようにしてください。また 接続部に振動をあたえないでください。本製品及び、接続先の製品が故障する原因となります。			

AC アダプター・電源・電源コードについて

⚠警告		
ぬれ 手	ぬれた手で電源コードを抜き差ししないでください。感電の原因となります。	
火災 <u> 人</u> 災	電源プラグとコンセントの接続部には、ホコリやゴミをためないでください。その状態で長い間 使用して湿気をおびると、接続部が熱をもって発火にいたる「トラッキング」を起こし、火災の 原因となります。	
<u>у</u> уу <u>А</u>	電源コードを巻いたり、束ねたりしないでください。その状態で使用すると電源コードが熱をもって発火し、火災の原因となります。	
感電・火災	電源コードを傷つけたり、加工したりしないでください。また、重いものを載せたり、引っ張ったり、無理に曲げたり、ねじったり、加熱したりして、電源コードを傷めないでください。感電・ 火災の原因となります。	
感電・火災	電源コードのコードやプラグが傷んだり、コンセントの差し込み口がゆるい状態では使用しない でください。そのまま使用すると、感電・火災の原因となります。	
アース接続	電源を接続する前に必ずアース接続をしてください。アース接続しないで使用すると、万一漏電 した場合に、感電・火災の原因となります。	
アース接続	湿気の多い場所で使用する場合はアース接続をしてください。 アース接続しないで使用すると、万一漏電した場合に、感電・火災の原因となります。	
感電・火災	指定された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。また、タコ足配線をしないでください。 感電・火災の原因となります。	
感電・火災	添付の電源コード以外は使用しないでください。感電・火災の原因となります。	

<u>AC アダプター・電源・電源コードについて</u>

⚠警告				
火災 <u> 火災</u>	電源プラグを電流容量 15A 以上の専用コンセントに直接接続してください。延長コードは過熱・ 発火の危険があるので使わないでください。			
火災 <u> 入</u>	指定の電源電圧以外では、絶対に使用しないでください。火災や故障の原因となります。			
分解・改造	本製品を分解・改造しないでください。火災・感電の原因となります。また、本製品の中古品を オーバーホールなどによって再生して使用しないでください。使用者や周囲の方の身体や財産に 予期しない損害が生じるおそれがあります。			
	⚠注意			
感電・火災	電源コードのプラグをコンセントから抜くときは、電源コードを引っ張らずに、必ず電源コード のプラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張ると、コードの芯線が露出したり断線し たりして、感電・火災の原因となることがあります。			
火災 <u> 入</u>	電源コードのコンセント差し込みプラグは、コンセントの奥まで確実に差し込んでください。プ ラグとコンセントの接触不良により、火災・故障の原因となることがあります。			



<u>▲警告</u>				
お客様自身の修理 本製品の修理はお客者自身で行わないでください。火災・感電の原因となります。弊社にご選 のうえ、弊社の担当保守員によるメンテナンスを受けてください。				
 分解・改造 本製品を分解・改造しないでください。火災・感電の原因となります。また、本製品の中古品 オーバーホールなどによって再生して使用しないでください。使用者や周囲の方の身体や財産 予期しない損害が生じるおそれがあります。 				
装置内の取り扱い 静電気に対し誤動作や故障を起こす場合があります。保守担当者以外は内部に触れない い。				
廃棄	本製品は金属、プラスチック部品を使用しています。廃棄するときは、各自治体の指示に従って ください。			

目 次

1.	はし	じめに	1
2.	表詞	记規則	1
2	烟点	司兵の確認	1
э.	11억 C		I
4.	重到	要なお知らせ	2
4	.1	安全性	. 2
4	.2	廃棄について	. 4
4	.3	本装置の運搬	. 4
5.	各部	鄂の名称と機能	5
5	1	外額	5
5	.2	モータ操作スイッチ部	. 5
5	.3	HOT-KEY スイッチ部	. 6
5	.4	リアパネル	.6
6.	ラッ	ックの取り付け方法	7
6	.1	ガイドレール取り付け(FP-G001の場合)	. 7
6	.2	本装置の取り付け手順	. 8
7.	ケ-	ーブルの接続と取り外し	9
7	.1	ケーブルの接続	.9
7. 7.	.1 .2	ケーブルの接続 KVM スイッチとの接続	.9 11
7. 7. 7.	.1 .2 .2.1	ケーブルの接続 KVM スイッチとの接続 シングルユーザーKVM スイッチ DVI モデルとの接続の場合	.9 11 11
7. 7. 7. 7.	.1 .2 .2.1 .2.2	ケーブルの接続… KVM スイッチとの接続… シングルユーザーKVM スイッチ DVI モデルとの接続の場合… シングルユーザーKVM スイッチとの接続の場合…	.9 11 11 13
7. 7. 7. 7. 7.	.1 .2 .2.1 .2.2 .3	ケーブルの接続… KVM スイッチとの接続… シングルユーザーKVM スイッチ DVI モデルとの接続の場合… シングルユーザーKVM スイッチとの接続の場合… 外付けマウス取り付け方法…	.9 11 11 13 15
7. 7. 7. 7. 7. 7.	.1 .2 .2.1 .2.2 .3 .4	ケーブルの接続… KVM スイッチとの接続… シングルユーザーKVM スイッチ DVI モデルとの接続の場合	.9 11 11 13 15 17
7. 7. 7. 7. 7. 7. 7.	.1 .2.1 .2.2 .3 .4 .5	ケーブルの接続 KVM スイッチとの接続	.9 11 13 15 17 18
7. 7. 7. 7. 7. 7. 7. 7.	.1 .2.1 .2.2 .3 .4 .5 .6	ケーブルの接続… KVM スイッチとの接続… シングルユーザーKVM スイッチ DVI モデルとの接続の場合	.9 11 13 15 17 18 18
7 7 7 7 7 7 7 8.	.1 .2.1 .2.2 .3 .4 .5 .6 择作	ケーブルの接続 KVM スイッチとの接続 シングルユーザーKVM スイッチ DVI モデルとの接続の場合 シングルユーザーKVM スイッチとの接続の場合 外付けマウス取り付け方法 外付けマウス制限寸法 ケーブルの抜け防止について ケーブルの取り外し	.9 11 13 15 17 18 18 19
7 7 7 7 7 7 7 8.	.1 .2.1 .2.2 .3 .4 .5 .6 .1	ケーブルの接続	.9 11 13 15 17 18 18 19
7. 7. 7. 7. 7. 7. 8. 8. 8.	.1 .2.1 .2.2 .3 .4 .5 .6 .1 .2	ケーブルの接続… KVM スイッチとの接続… シングルユーザーKVM スイッチ DVI モデルとの接続の場合… シングルユーザーKVM スイッチとの接続の場合… 外付けマウス取り付け方法… 外付けマウス制限寸法 ケーブルの抜け防止について ケーブルの取り外し… 年 本装置の引き出し… 本装置の開閉と格納	.9 11 13 15 17 18 18 19 20
7 7 7 7 7 7 8 8 8 8	.1 .2.1 .2.2 .3 .4 .5 .6 .1 .2 .0	ケーブルの接続	.9 11 13 15 17 18 18 19 19 20 22
7. 7. 7. 7. 7. 7. 7. 8. 8. 8. 8. 9.	.1 .2.1 .2.2 .3 .4 .5 .6 .1 .2 .0 .1	ケーブルの接続 KVM スイッチとの接続 シングルユーザーKVM スイッチ DVI モデルとの接続の場合 シングルユーザーKVM スイッチとの接続の場合 外付けマウス取り付け方法 外付けマウス制限寸法 ケーブルの抜け防止について ケーブルの取り外し な 本装置の引き出し 本装置の引き出し 本装置の開閉と格納 面の設定 メインメニューの表示と設定項目の選択	.9 11 13 15 17 18 18 19 20 22 22 23
7. 7. 7. 7. 7. 7. 7. 7. 7. 8. 8. 8. 8. 8. 9. 9. 9.	.1.2.1.2.3.4.5.6 操 1.2 画 1.2	ケーブルの接続 KVM スイッチとの接続 シングルユーザーKVM スイッチ DVI モデルとの接続の場合 シングルユーザーKVM スイッチとの接続の場合 外付けマウス取り付け方法 外付けマウス制限寸法 ケーブルの抜け防止について ケーブルの取り外し 作 本装置の引き出し 本装置の引き出し 本装置の開閉と格納 町の設定 メインメニューの表示と設定項目の選択 明るさの設定方法	.9 11 13 15 17 18 18 19 20 22 23 24
7 7 7 7 7 7 7 8 8 8 8 8 9 9	.1.2.2.2.3.45.6 择1.2 面1.2.1.	ケーブルの接続	.9 11 13 15 17 18 18 19 20 20 22 23 24 24 24
7. 7. 7. 7. 7. 7. 7. 7. 7. 7. 7. 7. 7. 7	.1.2.2.3.4.5.6 操 1.2 画 1.2.2.2.2.2.2.2.2.2.2.2.2.2.2.2.2.2.2.2	ケーブルの接続 KVM スイッチとの接続 シングルユーザーKVM スイッチ DVI モデルとの接続の場合 シングルユーザーKVM スイッチとの接続の場合 外付けマウス取り付け方法 外付けマウス制限寸法 ケーブルの抜け防止について ケーブルの取り外し 作 本装置の引き出し 本装置の開閉と格納 面の設定 メインメニューの表示と設定項目の選択 明るさの設定方法 メインメニューから設定する場合 グイレクトで設定する場合	.9 11 13 15 17 18 18 19 20 22 23 24 24 24 24
7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7	.1.2.2.2.3.4.5.6 择 .1.2 画 .1.2.2.2.3.4.5.6 择 .1.2 画 .1.2.2.2.3.3.4.5.6 平 .1.2.2.3.3.4.5.6 平 .1.2.2.3.4.5.6 平 .1.2.2.5.6 平 .1.2.5.5.6 平 .1.2.5.5.6 平 .1.2.5.5.5.5.5.5.5.5.5.5.5.5.5.5.5.5.5.5	ケーブルの接続 KVM スイッチとの接続 シングルユーザーKVM スイッチ DVI モデルとの接続の場合 シングルユーザーKVM スイッチとの接続の場合 外付けマウス取り付け方法 外付けマウス制限寸法 ケーブルの抜け防止について ケーブルの取り外し なま置の引き出し 本装置の引き出し 本装置の開閉と格納 面の設定 メインメニューの表示と設定項目の選択 明るさの設定方法 メインメニューから設定する場合 コントラストの設定方法	.9 11 13 15 17 18 18 19 20 22 23 24 24 24 24 24 25

9.5	黒レベル設定方法	27
9.6	水平位置の設定方法	27
9.7	垂直位置の設定方法	28
9.8	水平サイズ(CLOCK)の設定方法	28
9.9	フォーカスの設定方法	29
9.10	入力切替の設定方法	29
9.11	言語の設定方法	30
9.12	情報表示	30
9.13	リセット	31
10.	タッチパッド機能 ON – OFF 設定	. 32
11. 7	本装置のお手入れ	. 33
12. j	支術仕様	. 34
12.1	対応解像度	36
13.	トラブル対策	. 38
13.1	画面が表示されない	38
13.2	両両調節ができかい	20
	「「「「「」」「「」」「」」「」」「」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」	30
13.3	画面詞のことない	30 38
13.2 13.3 13.4	画面がおかしい	38 39

1. はじめに

このたびは、フル HD1U ドロワー[FD-6000DVI/J]または[FD-6000DVI/JW](以降、本製品または本 装置と呼びます)をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

本製品をお使いになると、ラック作業空間の効率が大幅に改善されます。また、コンパクト設計のスラ イドモジュールの採用で、従来のソリューションに比べてより広くなるスペースを別のコンポーネント に利用できます。さらに、外付マウス(以後、マウス)が接続できるので、操作性が格段に向上しま す。

17.3型 TFT モニタの解像度は、1920×1080 で、最大表示色 1,677 万色の表示が可能です。

2. 表記規則

この説明書で使用している記号と文字の意味は次のとおりです。

()、「」、[]	参照する章のタイトルや用語の強調をしています。		
フル HD1U ドロワー	フル HD1U ドロワー[FD-6000DVI/J]または[FD-6000DVI/JW]の記述		
または本装置、本製品	の説明時に使用しています。		
<>	キーボード上のキーを示します。		
	例: <esc> は Esc キーを <enter> は Enter キーを示します。</enter></esc>		
()、)で囲まれた数字	順序に従って行う必要がある操作を示しています。		

3. 梱包品の確認

梱包物が揃っていることを確認し、(レ点)を付けてください。

□ 本装置本体	×1
□ オペレーティングマニュアル (本書)	×1
□ 保証書	×1
□ AC100V 用電源ケーブル	×1
□ ケーブル抜け防止バンド	×2
□ アナログモニタ接続ケーブル	×1
□ DVI モニタ接続ケーブル	×1
□ USB 接続ケーブル	×1
□ PS/2(KB)接続ケーブル	×1
□ PS/2(MS)接続ケーブル	×1

購入時の梱包箱および梱包品を保管しておくことをおすすめします。別の場所に移動するときに必要に なることがあります。万一、不備な点がございましたら、おそれいりますが、お買い求めの販売店または 弊社担当までお申し付けください。

/♪注意!

● 梱包箱から本体を取り出す際、LCD部開閉用ハンドルを持たないでください。LCD部だけが 開き本体を落とす恐れがあります。

4. 重要なお知らせ

▲注意!

● この章には、本装置で作業する際に注意しなければならない、安全性に関する情報を記載して います。よくお読みのうえ、正しくご使用ください。

4.1 安全性



本装置は、事務オフィス環境で使用する電子事務用機器などの情報処理装置に関する安全規格に準拠しています。ご不明な点があれば、お買い求めの販売店または弊社担当に連絡してください。

- ●本装置を運搬する際は、衝撃や振動を避けるため、購入時の箱か同等の箱を使用してください。 ただし、変形及び破損等が有る箱は、使用しないでください、本装置が破損する可能性があります。
- 本装置の取り付け中と使用前に、「技術仕様」の環境条件についての記事と「ケーブルの接続」の 記事をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。
- ●本装置を寒冷な環境から暖かい場所に移動すると、結露を生じることがあります。装置が完全に乾燥し、周囲温度とほぼ同じ温度になってからご使用してください。
- 地域の線路電圧が本装置の使用動作範囲内であることを確認してください。(「技術仕様」と本装置の型式銘板を参照してください)。
- 本装置の電源ケーブルは特別に認可されたものです。改造等は行わずにご使用ください。感電、短絡の原因になります。
- ●本装置の電源ソケットまたはラックの電源コンセントの周辺は、プラグの抜き挿しがすぐにできるようにしてください。
- ケーブルが損傷しないようにすべてのケーブルを配置してください。ケーブルを接続したり取り外したりするときは、「ケーブルの接続と取り外し」の該当部分を参照してください。
- 雷雨のときは、データケーブルを接続したり取り外したりしないでください。
- 本装置の内部に異物(ネックレスやクリップなど)や液体が入らないようにしてください。
- 緊急の場合(筐体、部品、またはケーブルの損傷、液体や異物の侵入など)は、ただちに装置からすべてのケーブルをはずして、お買い求めの販売店または担当保守員に連絡してください。
- ●本装置を修理できるのは資格のある技術者だけです。資格のないユーザーが本装置を開き誤った修理をおこなうと、感電や火災などの原因になることがあります。
- ケーブルは強く引っ張らず、必ずコネクタ部を持って抜いてください。
- 体調の悪い状態でのキー打鍵や長時間の連続キー打鍵は避けてください。
- 濡れた手での使用は避けてください。
- 濡れた手でコネクタの抜き挿しをしないでください。
- 本装置の上には、液体等入ったコップなど不要な物をおかないでください。
- 改造または修理をしないでください。

- 警告マーク(稲妻マークなど)が付いている部品(電源装置など)の分解、取りはずし、交換は、資格のある人以外はできません。
- 「モニタの調節」で指定されている解像度とリフレッシュレートしか設定できません。それ以外の 設定を行うと、モニタが損傷することがあります。ご不明な点は、お買い求めの販売店または 弊社担当にご連絡ください。
- 周辺機器用のデータケーブルは、干渉を防ぐために適切な絶縁処理が必要となります。
- 線路電圧を切断するときには、設置電源コンセントから電源プラグを抜きます。
- サーバを清掃するときは、「本装置のお手入れ」にしたがってください。
- 本説明書は本装置とともに大切に保管してください。本装置を第三者に譲渡する場合は、本説明書も 譲渡してください。
 本装置を引き出した状態で、脚立代わりに使用したり、よりかかったりすると、ラックが転倒する 可能性があるので危険ですので、おやめください。
 本装置を引き出した状態では、本機の角などにぶつけると危険ですので十分注意して操作して ください。本装置を使用しない場合や本装置以外のサーバや周辺機器など操作する場合には、
 本装置をラック内に格納することを推奨します。
- 本製品には有寿命部品(LCD など)が含まれており、長時間連続で使用した場合、早期の部品交換 が必要になります。
- 本製品を安定した状態でご使用になれる期間(耐用年数)は5年が目安です。
 ※1日8時間で月当たり200時間動作、使用環境が25℃を想定した場合の目安です。ただし、
 有寿命部品を除きます。



ご使用の前に[ご使用上のご注意]をよくお読みの上、正しくご使用ください。ここに記載の注意事項 はユーザー様への危害、財産への損害を未然に防止するための内容を記載していますので、必ずお守り ください。

- 各コネクタの抜き差しはサーバの電源が OFF になっていることを確認してから行ってください。 また、静電気にも充分注意し放電してから行ってください。静電気が貯まったままや、電源が ON の まま抜き差しすると、サーバまたは本機の故障の原因となる場合があります。その場合の故障は 保証対象外ですので、ご了承ください。
- 高解像度や接続環境でのゴーストやニジミ等の画質劣化は、モニタケーブルやビデオカードが影響している場合があります。また、ディスプレイとビデオカードの組合せによっては、正常に表示出来ない場合もあります。ビデオカード等の接続環境を変更してみてください。

4.2 廃棄について

本装置は、金属、プラスチック部品を使用しています。廃棄するときは、各自治体の指示にしたがってください。

4.3 本装置の運搬



5. 各部の名称と機能

5.1 外観



5.2 モニタ操作スイッチ部



No.	名称	内容	
1	EVITフィッチ	OSD 非君	長示のときに押すと画面の自動調整を行います。(VGA 入力時のみ)。
	ENII スイッナ	OSD 表示	示のときに押すとメニュー画面での設定を保存せずに終了します。
	_ フ <i>イ</i> ッチ	OSD 非君	長示のときに押すと LCD の輝度が下がります。
<u>د</u>	- ~1 ッテ	OSD 表示	えのときに押すと調整値が減少します。
٦	ーフィッチ	OSD 非君	長示のときに押すと LCD の輝度が上がります。
3	+ 入1 ツナ	OSD 表示	このときに押すと調整値が増加します。
4	MENU/ENTER スイッチ	OSD が表示されます。/OSD 表示のときに押すと項目を選択します。	
		青点灯	LCD 電源 ON 状態を示します。
5	LCD 電源 LED	橙点灯	スタンバイ(パワーセーブ)状態を示します。
		消灯	LCD 電源 OFF 状態を示します。
6	LCD 電源スイッチ	LCD の電源をオン/オフします。	

5.3 HOT-KEY スイッチ部



No.	名称		内容			
1	NUM LOCK LED	点灯	NUM LOCK オン状態を示します。			
		消灯	NUM LOCK オフ状態を示します。			
2	CAPS LOCK LED	点灯 CAPS LOCK オン状態を示します。				
		消灯	CAPS LOCK オフ状態を示します。			
3	SCROLL LOCK LED	点灯 SCROLL LOCK オン状態を示します。				
		点滅 ホットキーモード(KVM 接続時)状態を示します。				
		消灯	SCROLL LOCK オフ状態を示します。			
4	RESET スイッチ	先の細いピン等で押すことにより装置内部のメイン CPU のハードウェア				
		リセットを行います。装置の動作異常が発生した場合等に用います。				
		PS2 ケーブルで KVM スイッチと接続した場合のみ、KVM スイッチに対				
		して、リセット信号を送信します。				
5	HOT-KEY スイッチ	サーバま	たは KVM スイッチに対して、 <shift>+<ctrl>+<alt>のキー</alt></ctrl></shift>			
		コードを	送信します。			

5.4 リアパネル



No.	名 称	内容
1	インレット	電源ケーブル(AC100V)を接続します。専用の電源ケーブル
		以外は使用できません。
2	サーバ USB 接続用コネクタ	サーバの USB ポートを専用ケーブルで接続します。
3	サーバ PS/2 マウス接続用コネクタ	サーバの PS/2 マウスポートを専用ケーブルで接続します。
4	サーバ PS/2 キーボード接続用コネクタ	サーバの PS/2 キーボードポートを専用ケーブルで接続します。
5	サーバ モニタ接続用コネクタ(VGA)	サーバのモニタポート(アナログ)を専用ケーブルで接続し
		ます。
6	サーバ モニタ接続用コネクタ(DVI-D)	サーバのモニタポート(DVI)を専用ケーブルで接続します。
Ø	抜け防止バンド取付穴	添付の抜け防止バンドを取り付けます。

6. ラックの取り付け方法

- 6.1 ガイドレール取り付け(FP-G001の場合)
 - (1) ガイドレールは、ガイドレールのガイドを 前方、内側を向くように取り付けます。
 (フロントスペーサがラックフロント側、 リアスペーサがラックリア側になります。)
 ガイドレールのリアスペーサ凸部をリア側の ラックサポート穴に入れます。(図中①)
 - (2) ラックサポートの外側からリアスペーサ上下の穴を 取り付けネジで固定します。(図中②)
 (左右ガイドレールの取り付け位置は同じ高さに してください。)



(3) フロント側のラックサポート内側にガイドレールを 合わせて、上下の穴を取り付けネジで固定します。(図中③)



6.2 本装置の取り付け手順

- (1) ガイドレール前方から本装置を入れます。(図中①)
- (2) 本装置を止まるまで押し込み、前面2箇所を取り付けネジで固定します。(図中②)
- (3) 電源ケーブルを本装置に接続する際、抜け防止のため添付の抜け防止バンドを使用し 固定してください。(取り付け方法は「7.5 ケーブル抜け防止について」を 参照ください。)

▲ 注意!

- ラッチレバーが解除されていると本装置がスライドする恐れがあるため注意してください。
- ガイドレールに本装置が入らないときや重い場合は、2人以上で持って入れてください。
- 本装置を持ち上げるときは <u>LCD 部開閉用ハンドルを持たないでください</u>。LCD 部だけが 開き本体を落とす恐れがあるので注意してください。



(ラックへの取り付け図)

7. ケーブルの接続と取り外し

7.1 ケーブルの接続

- サーバの電源ケーブルを電源コンセントに接続します。(図中①) ただし、サーバ電源は OFF のままにするようにします。
- (2)添付の KB(PS/2)ケーブル、MS(PS/2)ケーブル、USB ケーブル、モニタケーブルを 本装置とサーバに接続します。(図中②)

▲ 注意!
 不具合が起こる可能性があるため、以下のケーブル同士を同時に接続しないでください。
 ● VGA と DVI のモニタケーブルの同時接続 ×
 ● PS/2 と USB のケーブルの同時接続 ×

- (3) 電源ケーブルを本装置のインレットに接続します。(図中③)
- (4) 電源ケーブルを電源コンセントに接続します。(図中④)



PS/2 および USB インターフェースを有しており、ケーブルを接続し電源を入れることで インターフェースの切り替えを行います。動作が不安定になるため、電源を入れたままケー ブルを接続しないでください。

ケーブル接続	動作
USB 接続ケーブルのみ接続	キーボード、タッチパッド、外付けマウス動作
PS/2(KB)接続ケーブルのみ接続	キーボードのみ動作
PS/2(MS)接続ケーブルのみ接続	タッチパッドのみ動作
PS/2(KB),(MS)接続ケーブル同時接続	キーボード、タッチパッド動作

Point _____

● 外付けマウスは、USB 接続ケーブルを接続した場合しか操作できません。

⚠ 注意!

- ケーブルを曲げて使用する際は、曲げ R≧60mm で使用してください。
- 曲げ R が小さすぎるとケーブルの割れ、破談の原因となります。

7.2 KVM スイッチとの接続

7.2.1 シングルユーザーKVM スイッチ DVI モデルとの接続の場合

シングルユーザーKVM スイッチ DVI モデル(FS-V10XX シリーズ)と組み合わせて接続することで、接続可能なサーバ数を増やすことができます。

以下は4ポート KVM スイッチ DVI モデル(FS-V1004)との接続例です。

- (1) 本装置の DVI コネクタと KVM スイッチの Console ポート部モニタコネクタを、添付の DVI モニタ接続ケーブルで接続します。(図中①)
- (2) 本装置の USB コネクタと KVM スイッチの Console ポート部 USB コネクタを、添付の USB 接続ケーブルで接続します。(図中②)
 (汎用 USB コネクタは USB2.0 デバイス用のため、USB 接続ケーブルは接続しないでください。(図中※印))
- (3) サーバの電源ケーブルを電源コンセントに接続します。(図中③) ただし、サーバ電源は OFF のままにしてください。
- (4) 1 台目のサーバの USB コネクタ及びモニタコネクタに別手配の専用ケーブルを接続します。 (図中④)
- (5) 専用ケーブルの反対側のコネクタを KVM スイッチのサーバ接続用ポートに接続します。 (図中⑤)
- (6) 2~4 台目も同じ手順で接続します。
- (7) 電源ケーブルを本装置と KVM スイッチにそれぞれ接続し、電源コンセントに接続します。(図中⑥)
- (8) 使用するサーバの電源を入れます。



7.2.2 シングルユーザーKVM スイッチとの接続の場合

シングルユーザーKVM スイッチ (FS-11XX シリーズ) と組み合わせて接続することで、接続可能な サーバ数を増やすことができます。

以下は4ポート KVM スイッチ(FS-1104)との接続例です。

- (1) 本装置の VGA 用コネクタと KVM スイッチの Console ポート部モニタコネクタを、添付のア ナログモニタ接続ケーブルで接続します。(図中①)
- (2) USB 接続ケーブルを使用する場合

本装置の USB コネクタと KVM スイッチの Console ポート部 USB コネクタを、

添付の USB 接続ケーブルで接続します。(図中②)

PS/2 接続ケーブルを使用する場合

- ・本装置の KB(PS/2) コネクタと KVM スイッチの Console ポート部 KB(PS/2) コネクタ
 を、添付の PS/2(KB) 接続ケーブルで接続します。(図中②)
- ・本装置の MS(PS/2)コネクタと KVM スイッチの Console ポート部 MS(PS/2)コネク タを、添付の PS/2(MS)接続ケーブルで接続します。(図中②)
- (3) サーバの電源ケーブルを電源コンセントに接続します。(図中③) ただし、サーバ電源は OFF のままにしてください。
- (4) 1 台目のサーバの USB コネクタまたは PS/2 コネクタとモニタコネクタに別手配の専用ケー ブルを接続します。(図中④)
- (5) 専用ケーブルの反対側のコネクタを KVM スイッチのサーバ接続用ポートに接続します。 (図中⑤)
- (6) 2~4 台目も同じ手順で接続します。
- (7) 電源ケーブルを装置に接続し、電源コンセントに接続します。また、AC アダプタを KVM ス イッチに接続し、電源コンセントに接続します。(図中⑥)
- (8) 使用するサーバの電源を入れます。



7.3 外付けマウス取り付け方法

(1) マウスケーブル収納カバーのツメを持ち、カバーを開きます(図中①)。



- (2) マウスケーブル収納カバーから外部に出る分だけのケーブル長さを確保(図中②)
 - し、ケーブルを図のようにフックに引掛けます(図中③)。



- (3) ケーブルを巻取り部で巻取り(図中④)、USBコネクタを接続します(図中⑤)。
 - ※尚、ケーブルの長さによって USB コネクタ部の接続がうまくいかない場合は、巻取り部でケーブル長さの調整を行います。



(4) マウスケーブル収納カバーの溝からマウスのケーブルが外部へ出るように、 カチッという音がするまでカバーを閉めます。



7.4 外付けマウス制限寸法

外付けマウスの収納には寸法制限があります。 マウス収納サイズ:70(W)×140(L)×40(H)mm



マウスケーブルの USB コネクタ外形およびケーブル径についても制限があります。

USB コネクタ外形: 20(W)×48(L)×10(H)mm

ケーブル径: φ4.0 以下

マウスケーブルにフェライトコアが付いているマウスは使用できません。



7.5 ケーブルの抜け防止について

抜け防止バンド取り付け

添付品の抜け防止バンドを電源ケーブルに取り付けインレット横の取付穴に取り付けます。 また、抜け防止バンドを PS/2、USB 接続ケーブルに取り付け、マウス接続用コネクタ横の取付穴 に取り付けます。



7.6 ケーブルの取り外し

影響を受ける装置すべての電源プラグを電源コンセントから抜いた後で、各ケーブルを取り外してください。



8. 操作

▲ 注意! 本装置は、スライドレールがロックされるまでゆっくり手前に引き出してください。 ロックされていない場合、もたれ掛かると本装置は動いてしまいます。 スライドモジュールの引き出し、押し込み時や LCD の開閉時などを実施する際には、手を挟 まないよう十分注意して実施してください。

8.1 本装置の引き出し

装置前面左側のラッチレバー(図中①)を左へスライドさせ、ハンドルを持って本装置を引き出します。装置本体は、カチッと音がし、スライドレールがロックするまで引き出してください。



Point

本装置が、前面 2 本の取付ネジでラックにきちんと固定されていることを確認してから、引き出してください。

8.2 本装置の開閉と格納

(1) LCD 部開閉用ハンドルを持ち、LCD ロックを解除し LCD 部を上側へ開きます。



(2) キーボード、マウス、外付けマウス操作時は、前面カバー部を手前に倒しマウスが操作し 易いようにします。下図に示す様に、左隅にある金属レバーを上に上げると自重で前面カ バーが開きます。前面カバーを元の位置に戻すと金属レバーがロックされ前面カバーが閉 じます。



(3) LCD 部を閉じる際には、LCD 部開閉用ハンドルを持ち手前方法に閉じます。

(4)本装置の格納の際には、前面カバーを閉じる必要があります。((2)参照)
 本装置両側面のスライドレールロックを解除し(図中①)、ハンドルを持ち本装置をラック
 へ格納します。



LCD ロックは LCD 部を閉じると自動でロックします。

9. 画面の設定

[モニタ操作スイッチ部]を操作し画面の設定を行います。



No.	名 称	内容				
	EVITフィッチ	OSD 非君	表示のときに押すと画面の自動調整を行います。(VGA 入力時のみ)。			
		OSD 表示	OSD 表示のときに押すとメニュー画面での設定を保存せずに終了します。			
0	フノッチ	OSD 非君	表示のときに押すと LCD の輝度が下がります。			
2	ースコッテ	OSD 表示	そのときに押すと調整値が減少します。			
0	ーフィッチ	OSD 非表示のときに押すと LCD の輝度が上がります。				
9	キスコッテ	OSD 表示のときに押すと調整値が増加します。				
4	MENU/ENTER スイッチ	OSD が表示されます。/OSD 表示のときに押すと項目を選択します。				
		青点灯	LCD 電源 ON 状態を示します。			
(5)	LCD 電源 LED	橙点灯	スタンバイ(パワーセーブ)状態を示します。			
		消灯	LCD 電源 OFF 状態を示します。			
6	LCD 電源スイッチ	LCD の電源をオン/オフします。				

9.1 メインメニューの表示と設定項目の選択



(1) [MENU/ENTER]スイッチを押し OSD メニューを表示します。

設定項目

項目	アイコン表示	説明	
明るさ	×.	画面の明るさを設定します。	
コントラスト		画面のコントラストを設定します。	
カラー	•	画面の色合いを設定します。	
黒レベル	BLK	画面の黒レベルを設定します。	
水平位置		表示位置を左右に調整します。VGA 入力時のみ有効です。	
垂直位置		表示位置を上下に調整します。VGA 入力時のみ有効です。	
水平サイズ		帯状(縦)のノイズが発生する場合に調整します。VGA 入力時	
(CLOCK)		のみ有効です。	
フォーカス 🚫 🗴		文字のにじみや画面の水平方向のノイズが発生する場合に調整	
		します。VGA 入力時のみ有効です。	
入力切替	DVI4 VGA	DVI と VGA 入力の切替を行います。	
言語選択	~	OSD メニューで表示する言語を設定します。	
インフォメーション	(\mathbf{i})	解像度、設定値等を表示します。	
リセット	C	各項目で保存した設定を工場出荷時の状態にリセットします。	

(2) [+]スイッチ又は[-]スイッチを押し設定したい項目のアイコンに合わせます。

(3) [MENU/ENTER]スイッチを押すと各設定画面を表示します。(図:明るさ調整の例)



9.2 明るさの設定方法

9.2.1 メインメニューから設定する場合

- (1) [MENU/ENTER]スイッチを押し OSD メニューを表示します。
- (2)明るさの設定アイコン 🔆 を選択し、明るさの設定画面を表示します。



(3) [+]スイッチ又は[-]スイッチを押し設定したい明るさを選びます。

(4) [MENU/ENTER]スイッチを押し保存します。



9.2.2 ダイレクトで設定する場合

(1) OSD メニュー非表示の時に、[+]スイッチ又は[-]スイッチを押し、明るさ設定画面へ直接入ります。



- (2) [+]スイッチ又は[-]スイッチを押し設定したい明るさを選びます。
- (3) [EXIT]又は[MENU/ENTER]スイッチを押し保存します。



● 10 秒間、何も操作しない状態が続くと[EXIT]又は[MENU/ENTER]スイッチを押すことなく画面に表示中の明るさが保存されます。

9.3 コントラストの設定方法

- (1) [MENU/ENTER]スイッチを押し OSD メニューを表示します。
- (2) コントラストの設定アイコン

 を選択し、コントラスト設定画面を表示します。



(3) [+]スイッチ又は[-]スイッチを押し設定したいコントラストを選びます。

(4) [MENU/ENTER]スイッチを押し保存します。



9.4 カラーの設定方法

- (1) [MENU/ENTER]スイッチを押し OSD メニューを表示します。
- (2) カラーの設定アイコン



(3) [+]スイッチ又は[-]スイッチを押しカラーの選択をします。

```
カラーはNATIVE、6500、USERの3種類を選択できます。USER はお好みの色合いにカラ
ーを設定できます。
```

(4) [MENU/ENTER]スイッチを押し設定を保存します。





9.5 黒レベル設定方法

- (1) [MENU/ENTER]スイッチを押し OSD メニューを表示します。
- (2) 黒レベルの設定アイコン BLK を選択し、黒レベル設定画面を表示します。



- (3) [+]スイッチ又は[-]スイッチを押し設定したい黒レベルを選びます。
- (4) [MENU/ENTER]スイッチを押し保存します。



9.6 水平位置の設定方法

- (1) [MENU/ENTER]スイッチを押し OSD メニューを表示します。
- (2) 水平位置の設定アイコン 🔲 を選択し、水平位置設定画面を表示します。



- (3) [+]スイッチ又は[-]スイッチを押し設定したい水平位置を選びます。
- (4) [MENU/ENTER]スイッチを押し保存します。



9.7 垂直位置の設定方法

- (1) [MENU/ENTER]スイッチを押し OSD メニューを表示します。
- (2) 垂直位置の設定アイコン 📃 を選択し、垂直位置設定画面を表示します。



- (3) [+]スイッチ又は[-]スイッチを押し設定したい垂直位置を選びます。
- (4) [MENU/ENTER]スイッチを押し保存します。



9.8 水平サイズ(CLOCK)の設定方法

- (1) [MENU/ENTER]スイッチを押し OSD メニューを表示します。
- (2) 水平サイズ(CLOCK)の設定アイコン にを選択し、垂直位置設定画面を表示します。



- (3) [+]スイッチ又は[-]スイッチを押し設定したい水平サイズ(CLOCK)を選びます。
- (4) [MENU/ENTER]スイッチを押し保存します。



9.9 フォーカスの設定方法

- (1) [MENU/ENTER]スイッチを押し OSD メニューを表示します。
- (2) フォーカスの設定アイコン 🕖 を選択し、フォーカス設定画面を表示します。



(3) [+]スイッチ又は[-]スイッチを押し設定したいフォーカスを選びます。

(4) [MENU/ENTER]スイッチを押し保存します。

Point
 10 秒間、何も操作をしない状態が続くと[MENU/ENTER]スイッチを押すことなく画面に表示中のフォーカスが保存されます。
 設定を保存したくない場合は、[EXIT]スイッチを押してキャンセルできます。

9.10 入力切替の設定方法

- (1) [MENU/ENTER]スイッチを押し OSD メニューを表示します。
- (2) 入力切替の設定アイコン 🚟を選択し、入力切替設定画面を表示します。



(3) [MENU/ETER]スイッチを押し入力ポートを変更します。



9.11 言語の設定方法

- (1) [MENU/ENTER]スイッチを押し OSD メニューを表示します。
- (2) 言語の設定アイコン 😯 を選択し、言語設定画面を表示します。 現在選択されている言語が表示されます。



- (3) [+]スイッチ又は[-]スイッチを押し選択したい言語を選びます。
- (4) [MENU/ENTER]スイッチを押し設定を保存します。



9.12 情報表示

- (1) [MENU/ENTER]スイッチを押し OSD メニューを表示します。
- (2) インフォメーションのアイコン ①を選択し、情報を表示します。

入力:VGA

入力:DVI





- 情報表示画面から 10 秒間、何も操作をしない状態が続くと、表示は消えます。
- [MENU/ENTER]スイッチを押すとメインメニューに戻ります。

9.13 リセット

- (1) [MENU/ENTER]スイッチを押し OSD メニューを表示します。
- (2) リセットの設定アイコン 📿 を選択し、リセット画面を表示します。



(3) [+]スイッチ又は[-]スイッチを押し、リセットのモードを選択します。

	• READJUSTING	1		· COLOR		· GEO	METORY(VGA のみ	有効)
				OF RECALL			← RECALL	
Θ	READJUSTING	Ð	Θ	COLOR	Ð	θ	GEOMETORY	Ð

リセット実行項目

	READJUSTING	COLOR	GEOMETORY (VGA でのみ有効)
明るさ	100	100	
コントラスト	0	0	
カラー	NATIVE	NATIVE	
ユーザー (R:G:B)	100		
黒レベル	0	0	
水平位置	0(全モード)		0(全モード)
垂直位置	0(全モード)		0(全モード)
水平サイズ (CLOCK)	0(全モード)		0(全モード)
フォーカス	16(全モード)		16(全モード)
自動調整			
Auto Setup	再有効化(全モード)		再有効化(全モード)
入力ポート			
言語			

※ ---はリセットされません。

(4) [MENU/ENTER]スイッチを押すと下記のようにリセットを実行するかキャンセルするか 聞かれます。



リセットを実行しない場合は[EXIT]スイッチでキャンセルします。

10. タッチパッド機能 ON – OFF 設定

タッチパッドの機能を有効または無効にすることができます。 デフォルト(工場出荷時)は有効です。

無効にする場合の操作

- (1)[HOT-KEY]スイッチを5秒以上押してタッチパッド設定モードに入ります。 設定モードに入るとNUM LOCK LED→CAPS LOCK LEDの順で繰り返し点滅します。
- (2)[HOT-KEY]スイッチを押したままテンキーの<6>を押します。続けて<0>を押します。

(3)[HOT-KEY]スイッチを離して設定を終了します。 設定が正常に完了するとCAPS LOCK LEDが4回点滅します。

有効にする場合の操作

- (1)[HOT-KEY]スイッチを5秒以上押してタッチパッド設定モードに入ります。 設定モードに入るとNUM LOCK LED→CAPS LOCK LEDの順で繰り返し点滅します。
- (2)[HOT-KEY]スイッチは押したままテンキーの<6>を押します。続けて<1>を押します。
- (3)[HOT-KEY]スイッチを離して設定を終了します。 設定が正常に完了するとNUM LOCK LEDが4回点滅します。

※入力ミスがあった場合は、一度[HOT-KEY]スイッチを離してから再度やり直してください。

11. 本装置のお手入れ

▲ 注意!

- モニタの電源を切り、電源ソケットから電源プラグを抜いてください。
- 研磨剤を含む清掃剤やベンジン、シンナーなどの有機溶剤、消毒用アルコールは使用 しないでください。
- 水や洗剤、スプレー式のクリーナーを直接かけないでください。液が内部に入ると、 誤動作や破損の原因になります。

装置本体とモニタの筐体を乾いた布で拭いてください。汚れがひどいときには、水に浸したやわらかい 布をよく絞って拭きとってください。 ほこりはやわらかいブラシなどで掃ってください。

キーボードとポインティングデバイスを清掃するには、殺菌した布を使用してください。

モニタ画面は、ガーゼなどの乾いたやわらかい布で軽く拭いてください。ほこりはやわらかいブラシなどで掃ってください。

12. 技術仕様

項目			仕様			
名称			フル HD1U ドロワー			
形格			FD-6000DVI/J	FD-6000DVI/JW		
筐体色			黒	白		
必要ラックユニ	ット数	攵	1U			
液晶パネル			17.3 型 FullHD TFT カラーLCD			
モニタ解像度/リ	ワレ	ッシュ	1920×1080/60Hz			
ν-	-ト					
表示色			最大 1,677 万色			
輝度			400cd/m(typ)/315cd/m(min)			
コントラスト			600:1(typ) /500:1(min)			
=全白輝度:全	黒輝度	ŧ				
視野角			水平方向 左右 160°(typ)(CR≧10)			
			垂直方向 上 60°(typ) 下 80°(typ)(C	CR≧10)		
LCD 表面処理	T		グレア処理(硬度 3H)			
キーボード	+-	-数	108 = (JP)			
	スト	トローク	3.0mm±0.5mm			
	動作	F力	0.539N			
	打鈒	铸命	500 万回以上			
タッチパッド			X=160cosθ±16counts			
	基本	2	Y=240sinθ±24counts			
	分角	7.46 年月ピ	操作距離 10mm			
			操作速度 280mm/sec			
方式		ť	静電容量方式			
タップ機能		ップ機能	あり(シングルクリック、ダブルクリック、ドラッグ、スクロール)			
	SW	打鍵	5万回以上			
	寿命	þ				
モニタ操作	17/7	*= ^	5千回以上			
スイッチ部	打政	艺力印				
外部 USB ポート	- 仕様		Low,Full スピード対応			
			USB マウスのみ接続可能			
			供給可能電流:250mA			
 サーバ接続台数						
サーバとのインター USB		USB	USB-B メス ×1			
フェース仕様 DVI		DVI-D	DVI 24P メス ×1			
		VGA	Mini D-SUB 15P メス ×1			
PS/2		PS/2	Mini D-SUB 6P メス ×2			
モニタプラグ&こ	プレイ	機能	VESA DDC2B 準拠			
HDCP 機能			無し			

大体部门山口四次方		大けた前に引き出しロック地理ちり			
本体部引出ししい	ソク				
		引出し時 : 手動でロックを解除			
		押し込み時 :奥まで押すと自動ロック			
		本体右前はロック機構なしにより、収納時(左前ロック時)に右前部が本体取			
		り付け面より出る場合がある			
LCD 開閉ロック		LCD 開閉用ハンドル左に LCD 開閉ロック機構あり			
スライドレールロ	コック	本装置操作時に固定されるよう左右のスライドレールにロック機構がある			
		引き出し時 : 最大に伸張すると自動ロック			
		押し込め時 : 左右の固定バネを手動で解除する			
スライドレール	引出しカ	行程を平均 1.5 秒で操作した場合			
		平均 9.8~19.6N(1~2kgf),最大 24.5N(2.5kgf)			
	押込み力	行程を平均 1.5 秒で操作した場合			
		平均 9.8~19.6N(1~2kgf),最大 24.5N(2.5kgf)			
	引出し/押込み	2,000 回			
	保証回数				
省電力スイッチ		省電力スイッチ内蔵(LCD 部を閉じた際、LCD 電源 OFF)			
組み合わせ接続す	可能機種	FS-11XX シリーズ : シングルユーザーKVM スイッチ			
		FS-V10XX シリーズ:シングルユーザーKVM スイッチ DVI モデル			
		FE-1300CW / FE-2200CW / FE-1600CWU / FE-3000CXU			
電源/消費電流		AC100V 50/60Hz 0.5A			
最大漏洩電流(電	電源仕様)	0.45mA(max)			
動作周囲温度/湿	 度	5~35℃/10~80%RH(結露無き事)			
保存温度		-10~50℃/8~80%RH(結露無き事)			
最大湿球温度		動作時 29℃以下			
		非動作時 46℃以下			
		輸送時及び保管時 46℃以下			
外形寸法		本体部(幅、奥行、高さ)注:突起部を含まない			
		(1) スライドレール縮小時			
		487mm×664mm×42mm			
		(2) スライドレール伸長時			
		487mm×1164mm×42mm			
		 (3) (2)かつ LCD 引き起こし時(LCD の取手含む)			
		487mm×1189mm×322mm			
質量		約 10.5kg			

12.1 対応解像度

DVI-D デジタルポート	/VGA アナログポー	トサポート解像度

解像度	H. Freq [KHz]	V. sync [Hz]	Pixel Clock [MHz]	対応モード [※] 1	備考
640×480	31.5	59.9	25.2	0	VGA 60
800×600	35.2	56.3	36.0	0	SVGA 56
800×600	37.9	60.3	40.0	0	SVGA 60
1024×768	48.4	60.0	65.0	0	XGA 60
1280×1024	64.0	60.0	108.0	0	SXGA 60
1440,000	55.5	59.9	88.8	0	WXGA+ 60RB
1440×900	55.9	59.9	106.5	0	WXGA+ 60
1690×1050	64.7	59.9	119.0	0	WSXGA+ 60RB
1080×1050	65.3	60.0	146.3	0	WSXGA+ 60
1920×1080	67.5	60.0	148.5	Ø	1080P (FULL HD)推奨
1920×1200	74.0	60.0	154.0	0	WUXGA 60RB

※1 ◎:推奨解像度 ○:表示可能

●ガイドレール(別売)

形格	ラック取り付け穴	備考
FP-G001	M6 タップあり	M6 ネジ添付 前後からの取り付け
FP-G002	長穴タップなし	M5、M6 ネジ添付 前後からの取り付け
FP-G002/W	長穴タップなし	FP-G002+スペーサ+皿ネジ(M5)×4 個
		+M5ネジ 6本添付
FP-G003	長穴タップなし	M5、M6 ネジ付 サイドからの取り付け

13. トラブル対策

13.1 画面が表示されない

症状	考えられる原因	対処方法
LCD電源スイッチを押して もLCD電源LEDが消灯して いる。	電源ケーブルが正しく接続され ていない。または奥まで確実に 接続されていない。	電源ケーブルを正しく奥まで確実 に接続してください。
LCD電源LEDがオレンジ色 に点灯している。または MENU/ENTERボタンを押す	サーバがスタンバイ状態になっ ている。	キーボードのどれかのキーを押す かマウスを動かしてください。ス タンバイ状態が解除されます。
と「POWER SAVING」のメ ッセージが表示される。	モニタケーブルがサーバ本体 に、正しく接続されていない。	サーバ本体にモニタケーブルを正 しく接続してください。
LCD電源LEDが点灯する が、画面が表示されない。 場合によっては以下のメッ	標準表示仕様以外の解像度とリフ レッシュレートになっている。	サーバ本体の設定を標準表示仕様 の解像度とリフレッシュレートに 変更してください。
セージも表示される。 「OUT OF RANGE DVI H:***kHz V: H:***Hz	サーバ本体より後に本製品の電 源を入れた。	サーバ本体と同時またはそれ以前 に本製品の電源を入れてくださ い。
SEE USER'S MANUALJ 「NO SYNC SIGNAL SEE USER'S MANUALJ	サーバ/PC接続専用ケーブルが、 サーバ本体に正しく接続されて いない。	サーバ本体にサーバ/PC接続専用 ケーブルを正しく接続してくださ い。

13.2 画面調節ができない

症状	考えられる原因	対処方法
UNSUPPORTED MODE	標準表示仕様以外の解像度とリ	表示された周波数を確認していた
SEE USER'S MANUAL	フレッシュレートになってい	だき、適切な設定に変更してくだ
	る。	さい。

13.3 画面がおかしい

症状	考えられる原因	対処方法
画面が消えることがある。	電源ケーブルが奥まで確実に接続 されていない。	電源ケーブルを奥まで確実に接続 してください。
文字の太さが場所によって 異なる。	1920×1080より低い解像度にな っている。	デジタル処理で擬似的に拡大処理 しているので文字の太さが異なる 場合があります。 最適な画面にするにはサーバ本体 の解像度設定を1920×1080に設 定してください。
表示がはみ出る。 または、画面いっぱいに表 示されない。	標準表示仕様以外の解像度(モー ド)になっている。	サーバ本体の設定を標準表示仕様 の解像度(モード)に変更してく ださい。

 症状
 考えられる原因
 対処方法

 キーボードが動かない
 キーボード、マウス、タッチパッ ドが認識されていない。
 PS/2接続ケーブルまたはUSB接続 ケーブルを正しく接続してくださ い。

 外付けマウスが動かない (カーソル、スイッチ)
 (詳細は「7.1 ケーブルの接続」

タッチパッド無効モードになって

を参照ください。)

ください。

タッチパッドを有効モードにして

(詳細は「10. タッチパッド機能ON-OFF設定」を参照ください。)

13.4 外付けマウス、タッチパッド、キーボードが動かない

いる。

タッチパッドが動かない

MEMO

MEMO

MEMO

製品に関するお問い合わせ

万一誤動作、あるいは異常動作など不都合、不明な点がありましたら、お手数ですが弊社の下記担当まで ご連絡くださいますようお願い申し上げます。

FCL コンポーネント株式会社

ホームページ: https://www.fcl-components.com/contact/

<修理・不具合に関するお問い合わせ>

FCL コンポーネント お客様サービス&サポートセンター

0120-810-225

*** PPIS 0K ※携帯電話からもご利用になれます。

営業時間:9:00~12:00、13:00~17:00(土曜、日曜、祝祭日、弊社休業日を除く)

FCL Components SERVIS KVM Solution フル HD1U ドロワー [FD-6000DVI/J] [FD-6000DVI/JW]

2024年2月第4版発行

FCL コンポーネント株式会社 〒140-8586 東京都品川区東品川 4-12-4 品川シーサイドパークタワー

- 本書の記載内容は予告無しに変更する事があります。
- 本書に記載された情報、図面の仕様に起因する第三者の知的財産権、その他権利侵害については、当社はその責を負いません。
- 本書に記載された製品を使用した貴社製品が、「外国為替及び外国貿易法」ならびに「米国 輸出管理規制(EAR)」などの法令に基づき規制されている貨物又は技術に該当する場合に、 該当製品を輸出するに際しては同法に基づく許可が必要になります。
- 無断転載を禁じます。
- 落丁、乱丁のあるものはお取り替え致します



NC14012-L575AA-04